

平成24年第3回日野町議会定例会（3日目）

平成24年3月16日 午前10時 開議

一般質問通告表

	氏名	質問事項
1	中原信男	<p>※タクシー利用者補助について 利用者からタクシー利用者補助の継続を望む声が多くあり、高齢者対策、住民サービスの観点から必要なことである。</p> <p>①平成24年度においてもタクシー利用者補助を継続する予定か。 ②本人負担が5割となっているが、制度の変更は考えていないか。 ③現在の認定者数は何人か。 ④利用者一人当たりの年間使用回数は、最大で48回となっているが、利用者によっては増やす考えはないか。</p> <p>※観光振興について 日野町の観光産業をより発展させ、地域の活性化を図るべきではないか。 (観光客の増)</p> <p>①町内外に対して、観光情報の発信を強化すべきではないか。 ②町内の国道、県道に観光標識及び案内板を増やすべきではないか。 ③国際マンガサミットに関連した、西部市町村の具体的な取り組みと連携はどうなっているか。 ④鵜の池公園にある、キャンプ場やアスレチックなどの管理はどうなっているか。また、再整備する必要があるのではないか。</p>

2	松本利秋	<p>※施政方針とまちづくりについて</p> <p><基本構想について></p> <p>基本構想(町総合計画)の素案が今年の12月、議会に提示され、また、町民を対象に「まちづくり意見交換会」で説明。これを受けて、「広報ひの」を通じて、広く町民の意見を聴取し、3月に策定の運びとなっていました。</p> <p>ところが、24年度施政方針では、基本構想が消えてしまい、議案としても上程されておりません。構想は、どうなったのでしょうか。</p> <p>めまぐるしく変わる社会にあっても、基本的な考え方は、そう変わるものではありません。法の改正がどうのこうののではなく行政は、将来ビジョンを持ち、行政推進の指針として。また、町民自らの自治の教書として、双方が一丸となって、まちづくりを進めるためには、基本構想が必要と考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本構想をどのように考えておられますか。 2) これまで考えておられた構想(素案)は、いけないので、再度練り直し策定されるのか今後のスケジュールをお聞かせください。 3) 基本構想がないとするなら、現在策定されている過疎地域自立促進計画を町の基本構想と考えてもいいものではないでしょうか。 <p><機構改革について></p> <p>今年の9月の定例会で、「職員の給与に関する条例の一部改正」で町長は、①若者層の給与の是正、②職員の職務に対する意欲の向上、③事務分担を係によるものからグループによるものに移行し、事務の効率化を進め、多様化する住民ニーズに対応していくと、説明されました。</p> <p>格付け、給与関係は、1月1日から実施。また、グループ制は、4月1日から実施すると言っておられますが、明確ではありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループ制をどのように進めて行かれるか具体的にお聞かせください。 2) この条例の施行に当たっては、人事評価基準を明確にする必要があると考えますが、この点についてお聞かせください。 3) 職員の研修費(定例のものは除く)が、組まれていません。自発的研修を推進し、新しい発想でのまちづくり、いわゆる積極的な行政推進はできないものではないでしょうか。 4) 職員の自治会等集落担当制の具体的な取り組みをお聞かせください。 <p><高齢者の健康と生きがいづくりについて></p> <p>少子・高齢化に重点を置いたと言われる予算編成をみますと、確かに少子化対策は評価したいと思います。</p> <p>一方、高齢者は町人口の約半数を占めており、その率も年々上昇しており、高齢化対策(お年寄りの健康づくりと生きがいづくり)にもっと力を入れる必要があると考えます。</p> <p>高齢者の健康づくりと生きがいづくりは、表裏一体的なものであると考えます。これを同時に推進することはできないのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者対策(健康づくりと生きがいづくり)の取り組みについて具体的にお聞かせください。
---	------	--

3	小谷博徳	<p>※施政方針について</p> <p>24年度の町政の羅針盤ともいえる施政方針を聞き、本町が抱える諸問題に、「きらりと光る町づくり」を将来ビジョンに掲げ、全方位に近い広角な範囲で、施策が示されている点は評価をするが、予算書に記された内容をよく吟味してみると、意外と薄っぺらな深みに欠ける予算付けがなされている。町長の政策遂行の意気込みをつかみきれない施政方針の中から、いくつかの政策について、どのような考えで政策遂行されるのか、より深い町長の考えを質したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少子化対策.子育て支援について <ol style="list-style-type: none"> 1) 少子化をどのような施策をもってストップさせるのか。 2. 高齢化対策について <ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者の生活支援訪問事業 <ol style="list-style-type: none"> ① 23年度の現時点での成果 ② 24年度の事業展開 2) 高齢者のタクシー利用助成 <ol style="list-style-type: none"> ① 23年度の現時点での成果 ② 24年度の事業展開 3. 元気な町づくり交付金について <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去の交付実績は 2) 24年度の交付基準 4. 若者定住対策について <ol style="list-style-type: none"> 1) 新規就農者の育成はどのようにして図るのか。 2) 新規就農者の移住定住はどのように図るのか。 5. 自然や文化・歴史など地域資源を生かした町づくりについて。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 都合山たたら保存についてどのように考えているのか。
---	------	---

4	中原 明	<p>※施政方針と新年度予算について</p> <p>町長におかれましては、二期目の折り返し地点となられ、この6年間は艱難辛苦に満ちた道程であったと思われる。</p> <p>今日までは財政再建が主題でありましたが、明日からは活力溢れる町づくりが求められる。</p> <p>どう取り組まれますか。</p> <p>①財政状況を大きく改善され、健全化へと運んだと申されましたが、日本書紀の「高殿に、のぼりて見れば煙り立つ、民のかまどは、にぎわいにけり」我が町はこうなったのでしょうか。</p> <p>②基金状況の評価と見通し、活用について。</p> <p>③安定的な財源確保を図りとあるが、歳入の約6割の地方交付税を2.15%増は甘いのではないか、根拠は何か。</p> <p>④新たな発想を元に事業展開とは何か。 新規目玉施策は何か。</p> <p>⑤権限は下に、責任はトップに、これをどう思われますか。</p>
---	------	--

5	安達幸博	<p>※施政方針から見る平成24年度の日野町について 平成22年度決算で、財政健全化団体を脱却し、平成23年度も終わろうとしています。</p> <p>財政再建の一つのハードルを早期にクリアした景山町政を大いに評価します。その財政再建の指針とされた自立政策推進大綱から新たな長中期の計画の下、予算編成がされると思っていましたが、将来指針がないまま当初予算案をみることとなりました。</p> <p>しからは施政方針から単年度での日野町を読み取りながら、私が思う日野町と対比し当初予算案並びに町長の所信をお聞きします。</p> <p>①台風12号は、本町にも多くの災害をもたらしました。板井原川が警戒水位に迫り、護岸一部崩壊したものの決壊には至りませんでした。護岸のかさ上げ、堆積土砂の撤去を河川管理者の県にお願いするとのことでしたが、24年度での対応はありますか。</p> <p>②災害の備えの要である地域防災計画は、どのような視点、方法で策定されるのかお尋ねします。</p> <p>③財政調整基金は、今年度末で10億円を超える見込みですが、不測の事態に備えるための基金はいくらぐらいが必要と考えますか。</p> <p>④「原発の廃止は一日でも早く」のメッセージは同感するところですが、同時に代替エネルギーのメッセージも必要と考えますが、所見を尋ねます。</p> <p>⑤水資源の条例化についてお尋ねします。</p>
---	------	---

6	梅林智子	<p>※町防災計画について</p> <p>3. 1 1 福島の反省もなされないまま、国は原発再稼働を総理大臣判断で行うと表明した (3/7)</p> <p>銀行協会は4兆円の融資の条件として、柏崎刈羽原発の再稼働を求めていると報道された。</p> <p>もはや原子力安全委員会の意見も重要視せず、立地県、隣接县市町村も無視して、再び稼働にGOサインを出す可能性が出てきた。島根原発も同様である。</p> <p>町の指揮官として、町民のいのちを思いやるのか、経済を優先させるのか。</p> <p>町は防災計画を3年かけてやるということだが、コンサルタントに委託して、女性弱者の視点を入れられるのか。</p> <p>町民の実情把握と実働は、自治会任せにして、果たして役立つ防災計画が策定されるのか不安だ。</p> <p>1) 原子力防災の急がれる対策について</p> <p>①子供から若年層(40才以下)までの安定ヨウ素剤配布と80キロ以遠への避難が必要と考えるがどうか。</p> <p>②水道等飲用水の汚染防止措置が必要と思われるがどうか。</p> <p>2) 避難者の受け入れについて</p> <p>①病院間・高齢者施設間での受け入れ協定についてどう考えておられるか。</p> <p>②受け入れ可能と考える避難所の体制について、女性・乳幼児・高齢者、障害のある方々に対する準備をどう考えるか。</p> <p>物資の備蓄について対策をどうするのか。</p> <p>③災害時、停電状態の中で役場等の機能を保つには、自主電源の準備が必要不可欠だが、実態はどうか。又、これからどうしようと考えているのか。</p> <p>④防災計画の中で、町と自治会の役割をどう位置づけるのか。</p>
---	------	--

<p>7</p>	<p>佐々木求</p>	<p>※日野町江府町日南町衛生施設組合について し尿処理設備の老朽化に伴い、新しく建設する話が浮上している。これから先の時代は、あり方、考え方が重要になってくる。</p> <p>①下水の汚泥処理についてはどのような考えか。 特に、黒坂地区の農業集落排水の消滅化装置の評価と最終処分のあり方はどうか。</p> <p>②日野町江府町日南町衛生施設組合ではどこまで議論がなされているか、また、どのような日程が考えられているか。</p> <p>③日野町江府町日南町衛生施設組合でリーダーシップを取り、消滅化処理への「切りかえ」を主張すべきと考えるがどうか。</p> <p>※医療・福祉・介護について 国会で、6月に大枠を先に決め、その詳細は今の国会で議論されている。「地方主権」とは反対の動きで、「地方無視」だ。</p> <p>①「在宅介護」に力を注ぐとされているが、今回の影響がどの程度になるのか、前年との比較で、大まかに示してほしい。また、今後の影響をどう見ているか。</p> <p>②今回報告された「福祉計画」も、場合によっては見直しも出てくるのか、この点で、住民に大きく影響することはないか。</p> <p>※小中学生の各種大会等、選手派遣費補助金について 子供の派遣は、親にとっても大きな負担となる。少ない子供たちの「夢や希望」に少しでも寄り添えるものにすべきである。</p> <p>①「子育て支援策」の一つとして、見直す考えはないか。</p> <p>②選手派遣については、監督・コーチなどへの支援も必要であるし、バス等の借り上げ基準も見直しをすべきではないか。</p>
----------	-------------	--